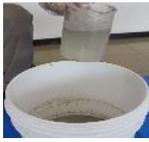


工程	作業手順			
(1) 前準備	<p>①活性炭を3次フィルター(PP太網)の底面に敷き詰めます。</p> 	<p>②2次フィルター(不織布)を活性炭の上に被せ、ステンスフレームに折り返しセットします。</p> 	<p>③さらに、上から1次フィルターを被せ2重にし、ステンスフレームを空バケツの上にセットします。</p> 	<p>④フィルター内に水8Lを投入して、活性炭を濡れた状態にします。 *初めは、活性炭の粉で濾水が黒くなる時があります。</p> 
(2) 攪拌・バケツ型洗濯機	<p>①バケツ型洗濯機のバケツに、剥離廃液8Lを入れてセットします。</p> 	<p>②タイマーを6分に合わせ、攪拌を始め、中和凝集剤AIを専用スプーンで山盛り0.5~1杯(40~80g)添加します。</p> 	<p>③タイマーが切れたら、カップに廃液をとって、凝集しているか？確認します。</p> 	<p>④凝集していない時は、凝集剤をスプーン半分追加して攪拌してください。</p> 
(3) 攪拌・モップの柄等	<p>①中和凝集剤AIを専用スプーン0.5~1杯添加、モップの柄等で廃液を水流ができるようによくかき混ぜます。</p> 	<p>②3~6分程度攪拌して中和凝集剤を溶かし、ワックス分を凝集させます。</p> 	<p>③カップに廃液をとって、凝集しているか？確認します。</p> 	<p>④凝集していない時は、凝集剤をスプーン半分程度追加して、再度2~3分良く攪拌してください。</p> 
(4) 濾過・活性炭の手入れ	<p>①凝集した廃液をフィルターの中に投入して濾過します。廃液中のワックス分が多い時は、水抜けに20~30分程度時間がかかります。</p> 	<p>②バケツに溜まった濾過水は、排水前にリトマス試験紙でpH5~9か？確認します。pHが5未満の時は、水を流しながら排水します。</p> 	<p>③濾過水は②により、下水道法基準をクリアしています。下水へ流すか道具の洗浄水として再利用できます。</p> 	<p>④濾過するたびに、水を8L流して活性炭の粒子間の異物が除去します。*活性炭は、必ず十分に濡れている状態で使用してください。</p> 

<p>(5) 凝集物のリサイクル</p>	<p>①1次フィルターを取り出して、底に溜まった凝集物を4~6日程度陰干しで乾燥させます。 * 以下リサイクルフローを参考に、事前にリサイクル登録申請をお願いします。</p> 	<p>②乾燥した凝集物は、ビニール袋へ入れ、15kg程度溜まったら、ダンボールで梱包して(一社)床ワ会宛に宅急便で送ります。</p> 	<p>③凝集物を送る際は、必ずリサイクル伝票を記載してダンボールに同封してください。</p>	<p>④凝集物は、床ワ会で加工されて、おう吐物凝固剤の原料となります。おう吐物凝固剤はJR山手線他で使用されます。</p>
<p>(6) 活性炭とフィルターの手入れ</p>	<p>①フィルターは、バケツで水洗いして付着した凝集物を除去し、洗濯機で洗濯します(繰り返し10回程度使用可能)</p> 	<p>②活性炭は、水を流して洗います。(活性炭が周りに飛び散らないように注意)</p> 	<p>③もし排水が白濁してきたら、濾過槽3次フィルターの活性炭を水の入ったバケツに取り出します。</p> 	<p>④モップの柄等で、活性炭を攪拌しながら洗浄し、粒子の間に溜まった不純物(灰汁)を出して長持ちさせます。</p> 